



原子力の安全を追求する相互交流ネットワーク

NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室

TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665

NSnet News

No.17
JANUARY
2003

理事長挨拶

2003年は世界に様々な危機が迫っています。

イラクは米英軍の攻撃が予断を許さない状況になってきており、また、北朝鮮情勢如何によっては、日本にも被害が及ぶかもしれません。

経済も危機に瀕しています。中南米には破綻寸前の国家があり、東南アジア諸国は政権が不安定で先行きは不透明のままです。そして過去に経済大国であった日本では、失業率が5%を超え、株価が前年に比べ約2割下がりました。さらに、もう一つの経済大国であったドイツでは失業率は10%前後で、株価は前年に比べ約4割も下がっており、当時は成功したと言われた欧州統合も、いろいろな問題が起きております。

そして、原子力においても同様に危機が迫っています。

最近においては、原子力発電所において自主点検データ不正取扱問題等が発覚し、再点検作業が進められており多くの原子炉が停止しました。原子力による発電電力量が約30%となっている現在、これからの厳冬期にかけて電力需要が逼迫し、停電が起こる可能性も完全には否定できません。

このような状況の時こそ、我々NSネットが大いに頑張る時ではないでしょうか。

NSネットは昨年12月で設立から4年目を迎えました。この組織の特徴は原子力発電事業者をはじめメーカー、研究機関などの関係団体が一体となり、原子力産業界をあげて安全文化の共有化・向上を目指し、活動しているばかりでなく、一般の皆様方との接点を有していることです。この特徴を活用し、皆様方からの原子力やNSネットに対するご意見を真摯に受け止め、この逆境をばねに原子力安全文化醸成に邁進し、原子力の置かれている危機を乗り越えていきたいと思っております。

皆様からのより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク) 理事長

牧野 野



NSネットホームページ300,000回アクセス達成!

昨年11月末時点で、日本語版HP (<http://www.nsnnet.gr.jp/index.html>)、英語版HP (<http://www.nsnnet.gr.jp/english/index.html>) あわせて累計30万回のアクセスをいただきました(会員用HPは除く)。アクセスありがとうございました。

内訳は平成12年3月22日に開設した日本語版HPが272,766回アクセス、平成12年6月30日に開設した英語版が31,215回アクセスとなっています。



▲ 英語版

▼ 日本語版



日本語版HPは最近のアクセスが毎月1万回を超えており、会員からのアクセスが約4割、会員以外からのアクセスが約6割となっており、会員以外にもNSネットの活動に関心を持っていただいていることは非常に励みになります。

一方、英語版HPでは会員および国内からのアクセスが約2割、海外からのアクセスが約8割となっており、海外原子力関連機関からも定期的なアクセスがあります。

昨年、日本語版HP、英語版HPを一新し、より親しみ易く、分かり易く、かつ、使い易くなるよう改良しました。また、日本語版HPにおいては、NSネットコラムやNSネットメールニュースを追加し、関連団体との相互リンクも随時行い、コンテンツを拡充しています。

英語版HPにおいては、INES(国際原子力事象評価尺度)レベル1以上のトラブル情報及び社会的信頼性に関わる情報を英訳してトピックスに載せ、海外機関へ情報提供しています。

さらに、現在、会員向けHPのトップページの変更準備をしており、今年度中にはより使いやすいデザインに生まれ変わる予定です。NSネットHPに関するご意見、ご感想、お問い合わせはNSmail@nsnet.gr.jpまでお寄せ下さい。

評議員会でもご指摘のあったセキュリティ対策の一環として、昨年12月からNSネット事務所に電子ロックによる出入管理システムを導入しました。事務所にお越しの際にはインターホンを押して呼び出してください。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

相互評価（ピアレビュー）の実施状況について

今回は第26回の石川島播磨重工業(株)横浜事業所及び第27回の富士電機(株)東京地区で行われたピアレビューの状況を紹介します。ピアレビューの概要および報告書の全文をNSネットのホームページに掲載していますのでご覧ください。

平成14年10月30日から11月1日にかけて行われた第26回のピアレビューは、関西電力(株)、住友金属鉱山(株)、三井造船(株)の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加し、組織・運営、教育・訓練、設計・製造、重要課題対応の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、倫理関係、コミュニケーション、データの取扱い等にも注意を払ってレビューしました。

評価の結果、横浜事業所においては、全社の経営理念(「技術をもって社会の発展に貢献する」及び「人材こそが最大かつ唯一の財産である」)を受け、事業部基本方針、事業部品質方針を掲げ、各論に示すような諸活動を通じて、技術・品質・信頼・安全の確保に、協力会社も含め、全従業員が努力している姿が確認されました。

また、NSネットの会員外から、日本ヒューマンファクター研究所所長の黒田勲氏にオブザーバー参加いただき、「もっと簡単にピアレビューができるような方式にして、すばらしい成果が出るピアレビューを続けていけたらと思う。」との講評をいただきました。



▲ 報告書の提出

牧野理事長(写真左)より石川島播磨重工業(株)伊藤社長(写真右)へ

平成14年11月20日から22日にかけて行われた第27回のピアレビューは、中部電力(株)、三菱原子燃料(株)、核燃料サイクル開発機構の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加しました。

評価の結果、富士電機(株)においては、わが国の原子力産業におけるパイオニアであるとの自覚のもと、原子力利用の重要性及び放射線の特徴を十分認識した上で、信頼性の高い製品を納めることが原子力安全に貢献することにつながるとの意識が担当者まで確実に浸透し、協力会社を含めて諸活動へ取り組んでいることが確認されました。

また、NSネットの会員外から、消費生活アドバイザーである碧海酉栄氏にオブザーバー参加いただき、「ホスト、レビュー者ともに、お互いの立場は原子力の安全という共通のテーマに対して全く対等だということを、ピアレビューを実施する時の確認事項としていつも考えて頂きたい。」との講評をいただきました。

〈主な良好事例〉

- 「原子力HQRニュース」への全員参加による品質意識の啓発
- 重要基本作業認定の徹底による製造工程での品質の維持
- ボルフ活動による職場における改善の定量評価と製造体質の強化
- 協力会社へのきめ細やかな品質管理指導

〈改善提案〉

- 放射線、測定技術等に関する積極的広報活動の実施
- 社内協力会社員との倫理教育の共有化
- 「災害ポテンシャル排除の取り組み」の更なる高度化

〈主な良好事例〉

- 潜在している不適合の芽の早期摘み取り
- 専門家リストによる技術の伝承
- 設計OA化の推進によるヒューマンエラーの防止及び設計の効率的検証
- 製品品質確保のダメ押し
- リスクアセスメント手法の現場での活用による安全活動

〈主な改善提案〉

- 事例収集などの幅広い調査を基にしたデータ不正防止対策の検討
- 協力会社との倫理に係る情報交換
- トラブルの発生防止活動の風化防止への工夫



▲ 報告書の提出

牧野理事長(写真右)より富士電機(株)沢社長(写真左)へ

安全キャラバンの実績

今回は第44回と第45回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
44	11月27日	核燃料サイクル開発機構 大洗工学センター	金沢工業大学 教授 札野 順 氏	企業倫理プログラムの構築に向けて ～安全文化と価値共有～
45	12月13日	住友金属鉱山(株) エネルギー・環境事業部 技術センター	日本原燃(株) 再処理事業部 建設試運転事務所 副所長 榊原守彦 氏	日本原燃の安全活動事例 ～再処理施設建設を中心として～



▲ 札野氏

「価値をまず明確にすること。そして、その価値を共有すること。共有された価値に基づいた判断と意思決定を行うということ。こういうことができるようなシステムを作り上げていくことが重要であると思っています。」

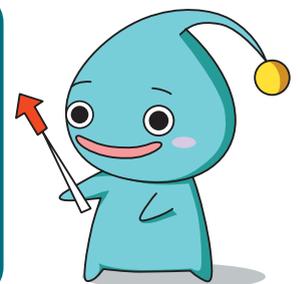


▲ 榊原氏

「安全、品質、環境からISO、JEAGまで、企業を構成する『人』が支えています。これからも一人一人の『人』が最も大切であるということをお忘れずに安全活動を行っていきたいと思っています。」

お知らせ

3月5日(水)に朝日東海ビル(東京都千代田区)において第6回管理者セミナーを開催予定です。会員の管理職クラスの方々を対象に、医療産業における安全に関する講演と相互評価における良好事例の紹介を予定しています。講演講師は亀田総合病院特命副院長の牧野永城 氏、講演テーマは「医療分野における臨床評価指標」です。現在、プログラムを作成しており、近く参加者を募集いたします。多くの会員の方々のご参加をお待ちしております。



NSネット (ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.17 2003年1月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnnet.gr.jp>

